あくびはなぜうつる？

年　組　番　名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

目標：80 wpm（145語を105秒）。共通テストのリーディングは、これくらいの速さで読めると時間内に回せます。

やり方（タイムを測って読む）　①スタートと同時に本文を読む　②読み終わったら黒板・スマホ等の時計で秒数をメモ　③本文を見ずに設問へ　④答え合わせのあと**同じ文章をもう一度**読んでタイムを縮める（2回目が本番）

Everyone yawns. You yawn when you are sleepy or bored, and sometimes for no reason at all. Cats yawn, dogs yawn, and babies yawn before they are born.

For a long time people thought that we yawn to take in more oxygen. But experiments do not support this. In one study, people breathed air with extra oxygen, and they yawned just as often as before.

Today some scientists think that yawning may cool the brain. When you open your mouth and take a deep breath, cool air comes in, and the blood near the brain becomes a little cooler. A cooler brain works better. That may be why we yawn when we are tired.

Yawning is also catching. When you see someone yawn, you often yawn too. This happens more between friends than between strangers. Some scientists think it is a small sign of empathy.

（145 words）　［語注］ yawn＝あくび（をする）　oxygen＝酸素　empathy＝共感

設問　本文を見ないで答えよう。　思考・判断・表現

(1)	この文章は主に何についての話？ ア．あくびの理由についての研究　イ．あくびを止める方法　ウ．ねむりが浅くなる原因　エ．脳の温度を測る実験	1点 （　　）
(2)	「酸素を取りこむため」という説について、本文が言っていることは？ ア．実験で証明された　イ．いちばん新しい説である　ウ．実験では支持されなかった　エ．脳を冷やす説と同じ内容である	1点 （　　）
(3)	あくびが「うつる」ことについて、本文の内容に合うものは？ ア．知らない人との間でよく起こる　イ．友だちの間でよく起こる　ウ．見た人の全員に必ず起こる　エ．病気のサインである	1点 （　　）

1回目　（　　　）秒　→　WPM＝145×60÷秒数＝（　　　）

2回目　（　　　）秒　→　WPM＝（　　　）　クリア条件：3問正解 ＋ 80wpm

学校・授業での利用は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

速読ラダー 01 あくびはなぜうつる？｜解答と速く読むコツ

基礎を固めるクラス 偏差値のめやす 40〜50程度 主な学年のめやす：高1〜高2

解答

(1)	ア	全体の主題。古い説→新しい説→伝染の順。
(2)	ウ	第2段落 experiments do not support this。
(3)	イ	第4段落 more between friends than between strangers。

3つの版の使い分け

同じ話題を、語数と目標スピードだけ変えた3つの版です（基礎=約130語・80wpm／標準=約160〜220語・110〜120wpm／発展=約170〜225語・150wpm。発展版は設問も英語）。発展版で語数より速さを上げているのは、共通テストのリーディングが「長い1本」ではなく「短い文章を次々に」処理する形だからです。読解の3版とは軸が違います—速読は「支援の量」ではなく「どれだけの量をどれだけの速さで」を変えます。クラスの帯に合わせて1つ選び、その版のまま連番を重ねてください。版をまたぐとWPMの記録が並ばなくなります。

速く読むコツ

・1回目は「だいたい分かればいい」と割り切って、知らない語で止まらない（語注も後回しでいい）。

・段落の1文目だけ濃く読み、あとは流す。これがスキミングの基本形。

・2回目は、答え合わせで気になった場所を確かめながら読む。速さと理解は「2回で1セット」。

記録 帯活動・自習で使うとき（同じ番号を日を空けて再挑戦してよい）

日付	教材番号	1回目WPM	2回目WPM	正解数

学校・授業での利用は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）